

# もんし 聞思

## ご本山団体参拝募集はじまる!

ご本山では平成二十三年四月より翌年一月まで五十六日間百十座、親鸞聖人七百五十回大遠忌法要が勤修されます。五十年の一度のご勝縁に遇えることはまことに有難いことです。萩組二十二ヶ寺では、できるだけ多くの方が法要にご参詣できるように、二泊三日・一泊二日のコースに分けて団体参拝を企画いたしましたので、どうぞ皆様お誘い合わせのうえご参加ください。基本の二泊三日プランは、九月十四日(水)の出発から九月十六(金)で、募集人員は二百人、参加費(旅行代金・保険代金・本山への冥加金など含む)は八万九千円、初日は京都ご本山法要へ、二日目は関東の親鸞聖人の御旧跡へ、三日目は日光や築地本願寺へよって帰るといふコースとなっております。一泊二日プランは、同じ九月十四日(水)から九月十五日(木)で、募集人員は百人、参加費は五万四千円、初日は同じで、二日目は京都市内の親鸞聖人の縁の地や比叡山を観光して帰るといふコースとなっております。どちらのコースも申し込みの締め切りは四月末日まで、申込金一万円を添えてお申し込みください。残金について六月末までにお支払いいただきます。尚、西プランとも初日のご本山法要参拝時に帰敬式の受式や大谷本廟への分骨納骨も可能ですが、別途追加料金がかかります。詳細は別紙の黄色のご案内用紙をご覧ください。記入もれなくお寺にお申し込みください。

発行所 光山寺  
〒758-0063  
萩市 大字山田4553  
TEL (0838) 22-1370  
http://kousanji.net

父母の身を  
思う子はあり  
父母の心を  
思う子は少なし  
多田鼎



■萩組、親鸞聖人七百五十回大遠忌お持ち受け法要おわる■  
ご本山の法要に先立って、親鸞聖人の七五〇回大遠忌お持ち受け法要が萩組で昨年十月三日(日)に光源寺と萩幼稚園(稚児行列スタート地)を会場に開催されました。当日は萩幼稚園を駐車場として、午後一時より稚児行列が田町アーケードを通り光源寺まで練り歩きました。光山寺からも雅楽会の演奏やお稚児さん八名(合計七〇名)が参加しました。その後、午後二時より光源寺にて、お持ち受け法要が勤修されました。ご法話として、最近では珍しくなりました高座での節談説教も行われ、日頃触れた事のない説教形態に驚かれたかと思えます。



また、前日の十月二日(土)午後一時には、同じく光源寺を会場に帰敬式(おみそり)が開催されました。受式申し込みをされました方は、萩組全体で約一八〇名、光山寺ご門徒は約四〇名の方が受式され、ご門主さまより法名を頂戴されました。今年の団体参拝では、ご本山で帰敬式が受式できますので、まだ法名を頂戴されていない方は併せてお申し込みください。

### 光山寺行事案内

平成二十三年の光山寺前期行事予定の一覧です。万障繰り合わせてご参加ください。

#### 萩組・光山寺法要関連

- 一月 九日(日曜) 午前十一時半 最勝講(玉江地区)
- 一月二六日(水曜) 午後七時 萩組連続研修(真覚寺)
- 三月二六日(土曜) 午後一時半 萩組総代世話人研修(満行寺)
- 三月二七日(日曜) 午後七時 萩組連続研修(三千坊)
- 五月一・二日(土・日曜) 春季永代経法要(講師、中島昭念師)
- 子供会(日曜学校) 関連
- 一月一〇日(月曜) 午前十一時 子供報恩講
- 以降、二月一九日(土曜)・三月十九日(土曜)
- 四月一六日(土曜)・五月二日(土曜) 午前九時より開催

#### 仏教青年会 関連

- 一月一〇日(月曜) 午前十一時 子供報恩講と同時開催
- 一月二三日(日曜) 午後二時 萩組ボウリング大会(3ヶ寺)
- 三月二七日(日曜) 午後三時 光山寺庫裏
- 一月二三日(日曜) 午後二時 萩組ボウリング大会(3ヶ寺)
- 五月 下旬 午後七時半 光山寺仏教壮年会総会
- 六月 中旬(日曜) 午前八時 光山寺ソフトボール大会

#### 仏教婦人会 関連

- 三月下旬・四月中旬 光山寺仏教婦人会常任委員会・全役員会
- 五月二日(日曜) 午前九時半 光山寺初参式
- 親鸞聖人讃仰会(登録制・要年会費二千円)
- 四月十八日(月曜) 午後八時、六月二〇日(月曜) 以降、隔月第三月曜日午後八時光山寺庫裡にて開催。十月まで。

#### 礼讃の夕べ(旧、正信偈唱和会、一般参加可・無料)

- 五月一四日(土曜) 午後八時 光山寺本堂
- 六月十一日(土曜) 午後八時 光山寺本堂
- 以後、毎月第二土曜午後八時開催。十月まで六回開催。

#### 雅楽練習会

- 一月二三日(日)・三月六日(日)
- 原則日曜午後七時半。不定期開催。
- コーラスの日程についてはお問い合わせください。

山口別院定例法座・毎月五日午後一時半(一月は十時半)

萩こころの電話(三分間法話)

25-7710

西本願寺の時間(KRYラジオ) 毎週日曜日午前六時から六時十分

# ■仏教壮年会研修・忘年会■

光山寺仏教壮年会（会長、西島孝一）では文化部（野村謙次部長）の研修並びに忘年会を十二月二十五日（土）午後六時より光山寺本堂にて開催しました。今年度も昨年と同じく講師に萩博物館研究員、道迫真吾氏をお迎えして、「萩の近代化産業遺産」世界遺産をめざして」と題して、現在世界遺産登録に向けて活動されている内容を中心にお話をいただきました。また、研修会終了後は、本年は文化部長さんのご縁にて、三隅の極楽寺仏教壮年会会員の方々八名と光山寺仏教婦人会の皆さんも参加され、賑々しく忘年会が庫裏にて開催されました。

## 募金箱報告

WWF（世界自然保護基金日本委員会）の募金箱（焼香机よこ）に集まった募金一万四千八百四十二円を十二月三十日送金いたしました。沢山の募金大変に有り難うございました。

## 初参式のお知らせ

親鸞聖人の誕生月である五月には毎年婦人会主催により初参式を実施している。今年も五月二十二日（日曜日）午前九時半より光山寺にて開催されます。生後一年くらいまでのお子さんが対象となるが、仏の子として育つため仏教のご縁に初めてあう合同の初参式です。参加希望の方はお子さんのお名前・生年月日等を光山寺までご連絡ください。尚、当日参加できない方は個別の初参式や自宅での初参式も受け付けていますので、是非お申し出ください。

## 親鸞聖人鑽仰会会員募集！

親鸞聖人のみ教えを鑽仰し、同朋としての親睦を深める事を目的とした「親鸞聖人鑽仰会」を今年も四月十八日よりスタートしますので、新規会員を募集いたします。ご門徒に限らず、年齢・男女を一切問わず広く親鸞聖人のみ教えを仰ぐ方々の集まりです。年会費は二十円で二ヶ月に一回の開催。西本願寺の「季刊せいてん」を中心に学習します。浄土真宗聖典註釈版が必要となりますが、お持ちでない方は申し出ください。偶数月第三月曜日午後八時開催となりますのでご注意ください。詳しい申込みについては別紙にてご確認ください。

## 萩組、総代・世話人研修会

萩組の総代世話人の研修会が三月十二日午後一時半より満行寺さんにて開催されます。例年秋に行われていた研修会ですが、本年は萩組のお待ち受け法要の関係で春となりました。今回の研修会では、話題になった映画『靖国』に学びます。興味のある方は何方でもご参加ください。特に参加費は不要。



## 法話 「弱者を包み込む働き」 宇野行信（本願寺布教使）

### 多数の希望なのに

昨年の秋、こんな投書を読みました。「長男の初めての運動会の時、走った時の様子なんかを語り合いながら親子で食べる弁当って、おいしいだろうと、楽しみにしていました。けれど、親が参加できない家庭もあるからということ、子供は教室で食べるようになってたということです。私は、親の大多数が参加しようと思えばできるはずだと思います。だから、小数の人のために大多数の希望がいられないのは、残念でなりません」という内容でした。小学一年生の児童を子を持つ方からの訴えであります。たしかに、おっしゃる通りでありましょう。親子そろって運動会で弁当をいただくことによつて、生涯忘れることのできない懐かしい思い出が、間違いなく生まれることでありましょう。しかし、一方で、一生忘れることのない心の傷手を背負わされる児童が出てくるかもしれません。

### 母が病弱のゆえに

事実、私の友人のお母さんのお通夜にお参りした時、その友人からこんなことを聞きました。「母は、子供を授かったことの喜びと引き替えるように、病弱の身となったのです。だから、幼い時から青白い顔をして火鉢にもたれる母の姿が、やせ細った体で臥せっている姿しか印象がありません」というのです。そして、彼の妹さんからも、「街角で、お母さんに手を引かれて歩いてる親子づれの姿を見ると、楽しそうに通る過ぎる後ろ姿を目で追いかけてながら、一度でいいから母に手を引いてもらってあのように歩いてもらいたかったと、せつなく思ったものです」と聞かされました。2人の子供の親となつてなお、そんなことを話される妹さんの顔を、私は、まともに見ていることができませんでした。

### 切なく悲しい思い

そんな彼が、いちばん寂しく悲しい思いをしたのは、やはり、運動会の時だったそうです。仕事の都合で、父にも運動会に来てもらうことができなかったもので、いつも、クラスの友達の家と一緒になんか弁当を食べていたんです。ある年のこと、親友の孝一君の家族と車座になつて、弁当を開いていたのです。その時、他意はなかったのですが、孝一君のお母さんが、何気なく、「孝一、あんな、昼からクラス対抗リレーに出るんでしょう。力つけないかん、これ、お食べ」といいながら、孝一君の弁当の上に、ひと切れのタマゴ焼きをのせられたのだそうです。それを見せつけられた途端、

彼は、もうごはんがノドを通らず、ひとり席をはなれ、運動場の片隅で泣いていたそう。その時のせつなく悲しい思いを切々と告白してくれました。この彼の話を聞いているうちに私自身、わが子にそんな思いを味わわせてきたのではないかと、しみじみ思わずにはおれませんでした。だけれど、いつどんなとき、このような弱く悲しい小数の側に身を置かなければならないかも知れません。もちろん、先の投書をなさった方のお子さんも、どんなことで、同じ立場に立たされねばならないかも分かりません。その可能性がまったくないとはいえませんが。

### 児童に好評の童話

こうした弱く悲しい小数を包み込む思いが、いま、もつとも欠けているのではないかと、私には思われてなりません。ふとしたことで、小学一年生の国語の教科書「おおきなかぶ」という童話の出ていることを知りました。「うんとこしょ、どっこいしょ」という繰り返しのセリフがあることから、児童にとっても人気のある話だそうです。おじいさんが、かぶのたねをまきました。「あまい、あまい、かぶになれ。大きな大きな、かぶになれ」あまい、あまい、おおきなかぶになりました。おじいさんは、かぶをぬこうとしました。「うんとこしょ、どっこいしょ」と、かけ声をかけて引つ張ると、やっと抜けたという筋書きになっています。

### ねずみが加わって

この童話は、児童に、一人でできないことも、みんなで仲良く力を合わすと、大きな仕事ができるという喜びと、また、力を合わせることの大切さを教えるところに「ねらい」があるので、力強いおじいさんの加勢があつて、大きなかぶが抜けたという筋書きにする方が、わかりやすいように思います。それを、わざわざ、力の強いおじいさんからはじめて、それこそその役にもたつていないねずみが加わることによつて、一つの、仕事成就したとしていたのですが、ここに大切なポイントがあるようです。こう考えますと、社会から切り捨てられようとする弱い存在のそのままで、いのちありと見抜く如来の智慧の働きのあることを、この童話が教えてくれているとも読めます。人間の目には、価値のない名ばかりの草花である雑草も、如来には、いまだ人間に発見されないいのちを宿す草花なのであります。

（本願寺新報「リビング法話より」S61・1・20掲載）